# 第4回光・電子集積技術業績賞（林厳雄賞）受賞者紹介

光・電子集積化技術業績賞（林厳雄賞）表彰委員会委員長　伊藤良一

光・電子集積化技術業績賞は，故林厳雄氏が2001年に京都賞を受賞された際の賞金の一部を基金として，光技術と電子技術を融合し集積化することにより高度な機能を得るための新しいデバイス技術やシステム化技術に関わる研究と当該分野の発展に資する目的で設立された賞です．会誌「応用物理」による公募に対して推薦のあった4名の候補者について昨年11月開催の表彰委員会において慎重な審議をおこなった結果，米津宏雄氏を第4回光・電子集積技術業績賞（林厳雄賞）の受賞者に決定いたしました．

米津氏は1964年に静岡大学工学部を卒業後，日本電気(株)に入社しました．同社中央研究所で，勃興期のAlGaAs/GaAs半導体レーザの研究開発に従事し，日本初の室温連続発振や長寿命化および実用化など多くの成果を挙げるかたわら，1975年に工学博士（大阪大学）の学位を取得しました．1986年より豊橋技術科学大学電気・電子工学系教授として光・電子集積技術を中心とした研究をおこなっています．同氏は化合物半導体とシリコンの構造欠陥を抑制したヘテロエピタキシー技術を開発し，その技術をもとにシリコン基板上の同一のチップ内に発光ダイオードとSi-MOSトランジスタを自在に作ることができることを初めて実証しました．これらの基盤技術はきわめて先駆的で，今後のモノリシック光電子集積回路をはじめシリコンフォトニクス技術飛躍の大きな貢献となるものです．このことが今回の受賞理由です．この春の応用物理学関係連合講演会の会場で授賞式(2007年3月27日(火)17：30〜18：10　青山学院大学相模原キャンパス)がおこなわれます．また，受賞を記念して「モノリシック光電子融合システム基盤技術の先駆的研究」に関する記念講演（青山学院大学相模原キャンパス）を予定しておりますので是非ご参加ください．

受賞者　：　米津宏雄（豊橋技術科学大学教授）

業　績　：　モノリシック光電子融合システム基盤技術の先駆的研究

2006年度　光・電子集積技術業績賞表彰委員会
委員長　伊藤良一
委　員　片山良史，小林功郎，小柳光正，島田潤一，武田光夫，三杉隆彦